

歴史が繋ぐ縁

▶東京都墨田区「清雄寺」一行が来町

4月11日（土）、戦後、本町からの本堂移築が縁となり、墨田区・清雄寺の現住職小山日秀さんと檀家一行が矢祭町を訪問しました。当日は佐川町長と会談後、ゆかりの地や町内の名所巡りを通じ、時を超えて受け継がれる町との深い絆を確かめました。



国道118号の安全対策を強く要望

▶矢祭町内の安全確保に関する要望書を提出

4月20日（月）、佐川町長らが棚倉警察署と県南建設事務所を訪問し、国道118号の安全対策に関する要望書を提出しました。道路上への制限速度表示及び速度規制看板やガードレールの設置・移動についてなど、多角的な視点から町民の安全を確保するための対策強化を強く要望しました。

大きくなって帰ってきてね

▶稚鮎放流

4月24日（金）、矢祭橋付近の久慈川河川敷にて町と久慈川第一漁業協同組合による稚鮎の放流が行われました。放流には関係団体とともに緑の少年団（矢祭小学校3年生）が参加し、大きく育てて帰ってきてほしいという願いを込めて約1万尾の稚鮎を放流しました。



子どもたちの夢を実現させて

▶寄附採納式

令和8年4月24日（金）、役場町長室において棚倉町の南商事株式会社アローボウルの阿久津富夫社長と、阿久津ノブ子様が来庁され、矢祭町の教育振興と、子どもたちの夢を実現するための財源として役立ててほしいとの願いをこめて寄附されました。